

島田 莊司 選 第10回 ばらのまち 福山

ミステリー文学新人賞



「愛のアーチ」
ふくやま美術館

長編ミステリー

作品募集

350～800枚

〈締切〉2017.5.10 消印有効

21世紀、日本は江戸のような低消費、低公害の文明に向かってゆるやかに戻っていきます。そして、世界がこれを見つめます。この達成は、我慢では無理です。お金が貯められる人は、使う時間がない人。今後のわれわれは、消費以上の楽しみを見出していかなければなりません。創作です。この高い精神性の内にこそ、地球の未来があります。幕末、福山市は多くの文化人を輩出しました。またこの街から、創作の楽しさを発信していきましょう。 島田荘司

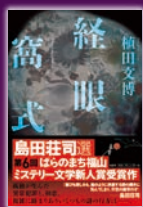
好評既刊！



第4回受賞作
『誰のための刃
レゾナントル』
知念 実希人
講談社



第5回受賞作
『バイリンガル』
高林 さわ
光文社



第6回受賞作
『経眼式』
植田 文博
原書房



第7回受賞作
『たとえ、
世界に背いても』
神谷 一心
講談社



第8回優秀作
『僕のアバターが
斬殺ったのか』
松本 英哉
光文社



第8回受賞作
『アムステルダムの詭計』
原 進一
原書房

詳しくは「福ミス」ホームページを参照ください。

<http://fukumys.jp/>

主 催／福山市、島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞実行委員会
協 力／講談社文芸図書第三出版部・光文社文芸図書編集部・原書房編集部
事務局／福山市経済環境局文化観光振興部文化課



島田 莊 司 選 第10回 ばらのまち 福山

ミステリー文学新人賞



福山市は、江戸時代には、当今第一と評された漢詩人菅茶山を生み、近代に入っては、巨匠井伏鱒二をはじめとして、随筆家福原麟太郎、劇作家小山祐士、詩人木下夕爾、小説家日野啓三を生んだ文学都市です。

現役では、いま最盛期にある本格ミステリー作家島田莊司が福山市出身です。

ふくやま文学館ではこのような多数の近代文学者を顕彰しています。「島田莊司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」はこの伝統の地から、ミステリー文学界に新風を送ることを目指しています。



応募要項

■応募作品

自作未発表の日本語で書かれた長編ミステリー作品。

400字詰原稿用紙350枚以上800枚程度。

ワープロ原稿の場合はA4横に縦書き40字×40行とします。

1枚目にタイトル、名前、400字詰原稿用紙換算枚数を記してください。

■応募方法

①原稿(ワープロ原稿の場合は印字したもの)。

通しノンブルを入れ、右肩を綴じてください。

②作品の電子データ(USB、CD-R等)

③作者プロフィール等 ※個人情報には守秘します。

A. 名前・ふりがな(ペンネームの場合は本名とふりがなも明記)、
タイトル、400字詰原稿用紙換算枚数、住所、生年月日、職業、
電話番号、メールアドレス

B. プロフィール(来歴や文学歴など)を自由な形式で記してください。
(400字以内)

④作品あらすじ(2,000字以内)

※③④はまとめて右肩を綴じてください。

①～④を同時に応募先に郵送してください。

(ファックス、メール等での応募は受け付けません)。

提出物は返却しません。二重投稿は受け付けません。

■応募資格

住所、年齢を問いません。受賞作以降も書き続ける意志のある方が望ましい。なお、受賞決定の後、2017年(平成29年)12月末日まで、選者の指導のもと、作品を推敲することがあります。

■締切

2017年(平成29年)5月10日(水) 消印有効

■発表

2017年(平成29年)10月(予定) 入賞者に通知ほか

■賞

正賞 トロフィー

副賞 受賞作品は協力出版社によって即時出版されるものとし、
その印税全額
福山特産品

■表彰式

2018年(平成30年)5月(予定)

■諸権利

著作権は、該当出版社に帰属します。

■応募・連絡先

ふくやま文学館「福ミス」係

〒720-0061 広島県福山市丸之内一丁目9番9号

Tel(084)932-7010 Fax(084)932-7020

 <http://fukumys.jp/>

 bungakukan@city.fukuyama.hiroshima.jp

島田 莊 司 (しまだ そうじ)

1948年福山市地吹町生まれ。福山誠之館高校を経て、武蔵野美大卒。

本格ミステリー作家として登場、話題作を次々と世に送り続けている。

ノンフィクションも手がけ、死刑論や日本人論などの文明批評も活発に

展開するかわら、新人の発掘育成にも力を注いでいる。

「占星術殺人事件」「写楽、閉じた国の幻」「アルカトラズ幻想」

「秋好英明事件」等。



広島県
福山市

「愛のアーチ」
ふくやま美術館

